

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2019No.158】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：セザール・フランク他

曲：ヴァイオリン・ソナタイ長調他

演奏：神尾真由子 (Vn)・ミロスラフ・クルティシェフ(pf)

発売：Sony Classical

No. : SICC-1576

概要：

神尾真由子・ミロスラフ・クルティシェフデュオリサイタルで求めてきた、「ロマンティック・ソナタ プレイズ・フランク/ブラームス/R.シュトラウス」と題した CD です。



収録曲目：

セザール・フランク

1. ヴァイオリン・ソナタ イ長調 I. Allegretto Ben Moderato
2. ヴァイオリン・ソナタ イ長調 II. Allegro
3. ヴァイオリン・ソナタ イ長調 III. Recitativo-Fantasia: Ben Moderato
4. ヴァイオリン・ソナタ イ長調 IV. Allegretto poco mosso

ヨハネス・ブラームス

5. ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品 100 I. Allegro amabile
6. ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品 100 II. Andante tranquillo; Vivace
7. ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品 100 III. Allegretto grazioso(quasi

Andante)

R. シュトラウス

8. ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 作品 18 I. Allegro, ma non troppo

9. ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 作品 18 II. "Improvisation": Andante cantabile

10. ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 作品 18 III. Finale: Andante; Allegro

演奏：神尾真由子 (Vn)・ミロスラフ・クルティシェフ(pf)

ネット上で得られた解説は以下のとおりです。

「孤高のイメージが強かった彼女が強力な共演者相手にその個性を伸び伸びと発揮しているだけでなく、ピタリと息の合った充実の演奏を繰り広げている。共演が同じ年のチャイコフスキー・コンクール最高位のクルティシェフということも大きい。いずれも非常にアグレッシヴな表現であるが、一本調子にならない辺りは5年間の鍛錬の賜物であろう。とりわけジャパン・ツアーの曲目にも選ばれたフランクは近年稀にみる快演で、両者の自信の程が伺える。 **intoxicate (C)**堀江智博 タワーレコード

(vol.101 (2012年12月10日発行号))

収録曲には、演奏会で演奏された曲の一つ R.シュトラウスのヴァイオリン・ソナタが含まれています。生で聴く神尾真由子の **Stradivarius Rubinoff** の音色は、オーディオ装置で再現することは至難の業ですが、それでも勢いのある演奏そのものは、デュオリサイタルの雰囲気をお聞かせしてくれます。

フランクとブラームスは、概ね抑制的な表現の曲ですが、ところどころに神尾真由子らしい自由で奔放な表現も交じってきます。神尾真由子は、曲芸的な演奏が多いのですが、こういう内省的な曲も弾けるという幅広さを示しています。

以上